

平成 31 年 4 月 2 日

設置者・園長 様

(一社)大阪府私立幼稚園連盟
理事長 安達 譲
教育研究委員長 中村 妙子

2019 年度「ECEQ コーディネーター養成講座」の受講者の募集について

桜花の候、先生にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

子ども・子育て支援新制度の施行や保育士の処遇改善、幼児教育無償化の具体的な検討にみられるように、幼児教育の重要性が社会的に認識されてきつつあり、幼児教育・保育への公的資金の投入額はこの数年で膨らみました。ただ、公的資金の投入が増えると、その代償として幼児教育・保育の成果を示したり、もう少し具体的なレベルでは各園が学校教育法や幼稚園教育要領と建学の理念に基づき、教育活動や運営等を行っていることを明示することが求められます。

幼稚園はこれまで、学校評価の文脈で自己評価と学校関係者評価、第三者評価を実施しており、組織的・継続的に教育の改善を図るとともに、保護者や地域社会もその過程に参加してもらうことで理解や参画を得て、信頼される幼稚園づくりを進めてきました。また、教育部分の第三者評価を私立幼稚園として独立して実施・運用するために、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構は学校評価実施支援システム「公開保育を活用した幼児教育の質向上システム」ECEQ (イーセック) Early Childhood Education Quality System を開発し、ECEQ コーディネーターの育成と ECEQ を利用した公開保育の実施を進めてきました。ECEQ の特徴は、外部指標を使った評価をするのではなく、当事者である公開保育実施園が自己評価を通して自園の良さや課題を明らかにし、参加者は保育を観察した上で公開保育実施園の目的や課題意識に沿ってフィードバックして、その園の優れた取組みを認めたり改善の方向性を検討することで教育の質の向上を目指す点です。

(一社)大阪府私立幼稚園連盟では、ECEQ の開発と運用を見据え、それに備える意味でこれまで大私幼方式での公開保育を推進してきました。そして、ECEQ が本格的に稼働した現在、大私幼は ECEQ 方式の公開保育を推奨しており、2019 年度は府下で少なくとも 7 件の ECEQ の実施を予定しております。

ご承知の通り、ECEQ の大きな特徴としては園内研修の支援者としての ECEQ コーディネーターの存在があり、ECEQ コーディネーターが ECEQ 実施園に寄り添いながら課題改善してゆく道により保育の PDCA サイクルの機能が働き、一定の成果を上げることにつながっております。本年秋に実施される幼児教育・保育の無償化に際し、今後もより一層、幼児教育・保育の質向上が求められる時代となることから、大私幼といたしましても、ECEQ の普及・充実の加速化を目指しております。そのためには ECEQ コーディネーターの養成が極めて重要です。

そこで、2019 年度に (公財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が開催する ECEQ コーディネーター養成講座の受講者を募集いたします。要項に記載します ECEQ コーディネーター養成講座にすべて参加いただき、レポートを提出し、また養成講座受講者の園で ECEQ を実施していただくことにより、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が認定する ECEQ コーディネーターの資格を取得できます。

つきましては、この講座の主旨をご理解いただき、大私幼事務局までお申し込みください。よろしくお願い申し上げます。

2019年度「ECEQ コーディネーター養成講座」要項

大阪会場

日時	内容	場所
講座Ⅰ 2019年 6月20日(木) 11:00～17:00 講座Ⅱ 6月21日(金) 9:00～15:00	オリエンテーション 幼児教育の今 STEP 1～4 公開保育	大阪私学会館 (大阪府大阪市都島区網島町 6-20)
課題提出	レポート提出 (※講座Ⅱにて課題説明)	
講座Ⅲ 2020年 2月14日(金) 11:00～16:00	STEP 5～6 まとめ	大阪私学会館 (大阪府大阪市都島区網島町 6-20)
講座Ⅳ 2020年度	自園にて ECEQ を実施し、終了レポートを提出	

■応募にあたって

- (1) 1園から複数人の応募をされても結構です。
- (2) 本講座を受講された方は、大阪府や近畿地区において、本講座内容を踏まえた ECEQ の実施や園内研修の支援等の活動を担っていただきます。
- (3) 本講座はお一人がすべての日程を受講していただきます。遅刻や欠席の場合は、次年度以降における養成講座を再履修していただきます。
- (4) 講座Ⅲの受講前にレポートを提出いただきます。レポートは ECEQ コーディネーターに必要な資質のひとつである「ファシリテーション」についての実践と理解を深めるために行います。レポートの詳細につきましては講座Ⅱにてご説明いたします。なお、提出していただいたレポートは講座Ⅲでとりあげる予定です。レポートはメールにてご提出いただきます。
- (5) 養成講座プログラムは2年間で実施し、講座Ⅳとして自園で ECEQ を実施していただきます。(平成 25 年度以降に ECEQ コーディネーターと共に公開保育を実施した園については実施をしたものと認め、講座Ⅳは免除いたします。) 詳細につきましては講座Ⅰにてご説明いたします。
- (6) すべての日程を受講し、レポート等課題の提出・ECEQ 公開保育を終えた方に「ECEQ コーディネーター認定証」を交付します。本資格は、研修会の実施や研修会の参加等により更新して頂きます。認定証発行に際しては、証明写真と登録料が必要となります。
- (7) 交通手段の確保は、各自でご対応ください。

■申込方法

- ・「2019 度 ECEQ コーディネーター養成講座」受講申込書
 - ・ECEQ コーディネーター調書
- の 2 点を、大私幼 HP (<http://kinder-osaka.or.jp/>) の「教員のみなさま」よりダウンロードして記入し、
- ・研修ハンドブックの「研修履歴一覧」のページ (写真データで可)
- と合わせた計 3 点を、2019 年 4 月 12 日(金)までに、大私幼事務局までメール(renmei80@wind.ocn.ne.jp)にて送付してください。

■選定基準と受講決定通知

コーディネーター調書や自園での ECEQ 実施経験の有無などを考慮し、大私幼理事長と教育研究委員会の正副委員長で、2019 年度の受講者を選定します。選定の結果については、受講を決定した方にのみ、2019 年 4 月 17 日（水）までに通知いたします。

また、ECEQ コーディネーター養成講座には受講定員があります。（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構から大阪に割り当てられた受講枠はもともと 1 つです。ただ、養成講座を東西 2 会場での実施としたことで、受講定員が 2 倍になり、割り当てられた受講枠よりも多くの参加が可能になると見込んでおります。大私幼では、ECEQ の普及・充実の加速化を目指しておりますので、希望される方については、できる限り受講していただきたいと考えております。

しかし、具体的にどの程度の受講数が確保されるか現時点では不透明ですので、ご応募いただき、選定されなかった方におかれては、予めご承知おきください。2019 年度以降も ECEQ コーディネーター養成講座が開催される予定ですので、2019 年度に受講者から漏れた方については、翌年以降に受講いただけるように配慮いたします。